

学校教育目標・学科教育目標・科目関連表(機械工学科(令和7年度以降入学者))

学校教育目標	機械工学科の教育目標	準学士課程(本科) 科目名			
		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
① <u>ものづくり能力</u> <u>社会の変化と要請を的確に</u> <u>捉え、ものづくりを多面的に</u> <u>認識し、実現可能なシステ</u> <u>ムを構築できる技術者の養</u> <u>成</u>	機械工学科専門科目及び 国語、社会等の一般科目を 体系的に学習し、ものづくり を実現可能とする能力を身 につける。	☐ 機械工作法I ☐ 工学基礎演習	☐ 工業力学I ☐ 情報工学I ☐ 機械工作法II ☐ マイクロニクス実習 ☐ 材料学IA ☐ 材料学IB	☐ 工業力学II ☐ 機械設計製図A ☐ 機械設計製図B ☐ 材料学II ☐ 材料力学I ☐ 機械要素設計A ☐ 機械要素設計B	☐ 校外実習 ☐ 材料力学IIA ☐ 材料力学IIB ☐ 機械力学 I ☐ 電気電子回路 ☐ 基礎電気磁気学 ☐ 熱力学IA ☐ 熱力学IB ☐ 水力学 I A ☐ 水力学 I B ☐ 機械運動学
② <u>基礎学力</u> <u>実験・実習で培われる豊か</u> <u>な体験と基礎理論の深い理</u> <u>解との融合から生まれるエ</u> <u>ンジニアリング基盤の確立</u>	数学、物理及び工学の基礎 の修得と豊富な実験・実習 体験を通じて、技術者の基 礎となる活きた学力を身に つける。	☐ 工学基礎演習 ☐ 基礎実習 ☐ 情報基礎	☐ 工業力学I ☐ 情報工学I ☐ 基礎製図A ☐ 基礎製図B ☐ マイクロニクス実習	☐ 応用物理学A ☐ 応用物理学B ☐ 工業力学II ☐ 情報工学IIA ☐ 情報工学IIB ☐ 物理Ⅲ ☐ 創造総合実習	☐ 統計学 ☐ 解析学A ☐ 解析学B ☐ 工学実験A ☐ 工学実験B ☐ 機械運動学
③ <u>問題解決能力</u> <u>問題意識と考える力を持</u> <u>ち、自ら学習することによる</u> <u>創造力と実践力を備えた技</u> <u>術者の養成</u>	実験や研究を通じて、自ら 工学的な問題を設定でき、 それを解決するための道筋 を示し、実行することができ る能力を身につける。	☐ 工学基礎演習 ☐ 基礎実習	☐ 基礎製図A ☐ 基礎製図B ☐ マイクロニクス実習	☐ 機械設計製図A ☐ 機械設計製図B ☐ 創造総合実習	☐ 工学実験A ☐ 工学実験B ☐ 校外実習
④ <u>コミュニケーション能力</u> <u>科学的な分析に基づく論理</u> <u>的な記述力、明解な口頭発</u> <u>表能力、十分な討議能力及</u> <u>び国際的に通用するコミュ</u> <u>ニケーション能力の修得</u>	実習・実験及び研究の成果 を、理解しやすくレポートや 報告書にまとめ、有意義な 口頭発表を行うことができる 能力を身につける。			☐ 創造総合実習	☐ 工学実験A ☐ 工学実験B
⑤ <u>技術者倫理</u> <u>世界の文化・歴史の中で、</u> <u>技術が社会に与える影響を</u> <u>考え、自らの責任を自覚し</u> <u>誇りを持つことのできる技</u> <u>術者の育成</u>	社会における技術者の役割 や責任及び望ましいありか たを自ら求めることができる 能力を身につける。	☐ 工学基礎演習 ☐ 情報基礎			

学校教育目標・学科教育目標・科目関連表(機械工学科(令和7年度以降入学者))

学校教育目標	機械工学科の教育目標	準学士課程(本科)		科目名
		第5学年	課題研究	
① <u>ものづくり能力</u> <u>社会の変化と要請を的確に</u> <u>捉え、ものづくりを多面的に</u> <u>認識し、実現可能なシステ</u> <u>ムを構築できる技術者の養</u> <u>成</u>	機械工学科専門科目及び 国語、社会等の一般科目を 体系的に学習し、ものづくり を実現可能とする能力を身に つける。	☐ 熱力学Ⅱ ☐ 水力学Ⅱ ☐ 制御工学A ☐ 制御工学B ☐ 機械力学Ⅱ ☐ 卒業研究	☐ CGエンジニア検定 ☐ 技術士第一次試験 ☐ ロボット製作／ロボット設計製作 ☐ 設計競技 ☐ 設計競技(全国) ☐ 設計競技(国際) ☐ 特別校外実習 ☐ 自然資源活用ものづくり ☐ 機械設計技術者試験 ☐ ITパスポート試験 ☐ 基本情報技術者	☐ 応用情報技術者 ☐ ネットワークスペシャリスト ☐ データベーススペシャリスト ☐ ITサービスマネージャ ☐ エンベデッドシステム スペシャリスト ☐ 情報処理安全確保支援士試験 ☐ ITストラテジスト ☐ システムアーキテクト ☐ プロジェクトマネージャ ☐ システム監査技術者 ☐ 産学連携実践セミナー(短期) ☐ 産学連携実践セミナー(長期)
② <u>基礎学力</u> <u>実験・実習で培われる豊か</u> <u>な体験と基礎理論の深い理</u> <u>解との融合から生まれるエ</u> <u>ンジニアリング基盤の確立</u>	数学、物理及び工学の基礎 の修得と豊富な実験・実習 体験を通じて、技術者の基 礎となる活きた学力を身に つける。	☐ 制御工学A ☐ 制御工学B ☐ 機械システム設計 A ☐ 機械システム設計 B	☐ 技術士第一次試験 ☐ 設計競技 ☐ 設計競技(全国) ☐ 設計競技(国際) ☐ ものづくりセミナー ☐ 2次元CAD利用技術者 ☐ 機械設計技術者試験	
③ <u>問題解決能力</u> <u>問題意識と考える力を持</u> <u>ち、自ら学習することによる</u> <u>創造力と実践力を備えた技</u> <u>術者の養成</u>	実験や研究を通じて、自ら 工学的な問題を設定でき、 それを解決するための道筋 を示し、実行することができ る能力を身につける。	☐ 機械システム設計 A ☐ 機械システム設計 B ☐ 卒業研究	☐ ロボット製作／ロボット設計製作 ☐ 設計競技 ☐ 設計競技(全国) ☐ 設計競技(国際) ☐ 特別校外実習	☐ ものづくりセミナー ☐ 自然資源活用ものづくり ☐ 2次元CAD利用技術者 ☐ 産学連携実践セミナー(短期) ☐ 産学連携実践セミナー(長期)
④ <u>コミュニケーション能力</u> <u>科学的な分析に基づく論理</u> <u>的な記述力、明解な口頭発</u> <u>表能力、十分な討議能力及</u> <u>び国際的に通用するコミュ</u> <u>ニケーション能力の修得</u>	実習・実験及び研究の成果 を、理解しやすくレポートや 報告書にまとめ、有意義な 口頭発表を行うことができる 能力を身につける。	☐ 卒業研究	☐ 産学連携実践セミナー(短期) ☐ 産学連携実践セミナー(長期)	
⑤ <u>技術者倫理</u> <u>世界の文化・歴史の中で、</u> <u>技術が社会に与える影響を</u> <u>考え、自らの責任を自覚し</u> <u>誇りを持つことのできる技</u> <u>術者の育成</u>	社会における技術者の役割 や責任及び望ましいありか たを自ら求めることができる 能力を身につける。	☐ 卒業研究	☐ 技術士第一次試験 ☐ 特別校外実習 ☐ 産学連携実践セミナー(短期) ☐ 産学連携実践セミナー(長期)	

学校教育目標・学科教育目標・科目関連表(機械工学科(令和7年度以降入学者))

学校教育目標	機械工学科の教育目標	準学士課程(本科) 科目名			
		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
① <u>ものづくり能力</u> <u>社会の変化と要請を的確に捉え、ものづくりを多面的に認識し、実現可能なシステムを構築できる技術者の養成</u>	機械工学科専門科目及び外国語	☐ 機械工作法I ☐ 工学基礎演習	☐ 工業力学I ☐ 情報工学I ☐ 機械工作法II ☐ メカトロニクス実習 ☐ 材料学IA ☐ 材料学IB	☐ 工業力学II ☐ 機械設計製図A ☐ 機械設計製図B ☐ 材料学II ☐ 材料力学I ☐ 機械要素設計A ☐ 機械要素設計B	☐ 校外実習 ☐ 材料力学IIA ☐ 材料力学IIB ☐ 機械力学 I ☐ 電気電子回路 ☐ 基礎電気磁気学 ☐ 熱力学IA ☐ 熱力学IB ☐ 水力学 I A ☐ 水力学 I B ☐ 機械運動学
② <u>基礎学力</u> <u>実験・実習で培われる豊かな体験と基礎理論の深い理解との融合から生まれるエンジニアリング基盤の確立</u>	数学、物理及び工学の基礎	☐ 工学基礎演習 ☐ 基礎実習 ☐ 情報基礎	☐ 工業力学I ☐ 情報工学I ☐ 基礎製図A ☐ 基礎製図B ☐ メカトロニクス実習	☐ 応用物理学A ☐ 応用物理学B ☐ 工業力学II ☐ 情報工学IIA ☐ 情報工学IIB ☐ 物理III ☐ 創造総合実習	☐ 統計学 ☐ 解析学A ☐ 解析学B ☐ 工学実験A ☐ 工学実験B ☐ 機械運動学
③ <u>問題解決能力</u> <u>問題意識と考える力を持ち、自ら学習することによる創造力と実践力を備えた技術者の養成</u>	実験や研究を通じて、自ら学ぶ能力の育成	☐ 工学基礎演習 ☐ 基礎実習	☐ 基礎製図A ☐ 基礎製図B ☐ メカトロニクス実習	☐ 機械設計製図A ☐ 機械設計製図B ☐ 創造総合実習	☐ 工学実験A ☐ 工学実験B ☐ 校外実習
④ <u>コミュニケーション能力</u> <u>科学的な分析に基づく論理的な記述力、明解な口頭発表能力、十分な討議能力及び国際的に通用するコミュニケーション能力の修得</u>	実習・実験及び研究の成果			☐ 創造総合実習	☐ 工学実験A ☐ 工学実験B
⑤ <u>技術者倫理</u> <u>世界の文化・歴史の中で、技術が社会に与える影響を考え、自らの責任を自覚し誇りを持つことのできる技術者の育成</u>	社会における技術者の役割	☐ 工学基礎演習 ☐ 情報基礎			

学校教育目標・学科教育目標・科目関連表(機械工学科(令和3年度以降入学者))

学校教育目標	機械工学科の教育目標	準学士課程(本科) 科目名			
		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
① <u>ものづくり能力</u> 社会の変化と要請を的確に捉え、ものづくりを多面的に認識し、実現可能なシステムを構築できる技術者の養成	機械工学科専門科目及び国語、社会等の一般科目を体系的に学習し、ものづくりを実現可能とする能力を身につける。	☐ 機械工作法I ☐ 工学基礎演習	☐ 工業力学I ☐ 情報工学I ☐ 機械工作法II ☐ マイクロニクス実習 ☐ 材料学IA ☐ 材料学IB	☐ 工業力学II ☐ 機械設計製図A ☐ 機械設計製図B ☐ 材料学II ☐ 材料力学I ☐ 機械要素設計A ☐ 機械要素設計B ☐ 機械運動学A ☐ 機械運動学B	☐ 機械システム設計A ☐ 機械システム設計B ☐ 校外実習 ☐ 材料力学IIA ☐ 材料力学IIB ☐ 機械力学A ☐ 機械力学B ☐ 熱力学IA ☐ 熱力学IB ☐ 水力学ⅠA ☐ 水力学ⅠB ☐ 基礎電気磁気学
② <u>基礎学力</u> 実験・実習で培われる豊かな体験と基礎理論の深い理解との融合から生まれるエンジニアリング基盤の確立	数学、物理及び工学の基礎の修得と豊富な実験・実習体験を通じて、技術者の基礎となる活きた学力を身につける。	☐ 工学基礎演習 ☐ 基礎実習 ☐ 情報基礎	☐ 工業力学I ☐ 情報工学I ☐ 基礎製図A ☐ 基礎製図B ☐ マイクロニクス実習	☐ 応用物理学A ☐ 応用物理学B ☐ 物理Ⅲ ☐ 工業力学II ☐ 機械運動学A ☐ 機械運動学B ☐ 情報工学II ☐ 創造総合実習	☐ 統計学 ☐ 解析学A ☐ 解析学B ☐ 機械システム設計A ☐ 機械システム設計B ☐ 工学実験A ☐ 工学実験B ☐ 情報工学Ⅲ
③ <u>問題解決能力</u> 問題意識と考える力を持ち、自ら学習することによる創造力と実践力を備えた技術者の養成	実験や研究を通じて、自ら工学的な問題を設定でき、それを解決するための道筋を示し、実行することができる能力を身につける。	☐ 工学基礎演習 ☐ 基礎実習	☐ 基礎製図A ☐ 基礎製図B ☐ マイクロニクス実習	☐ 機械設計製図A ☐ 機械設計製図B ☐ 創造総合実習	☐ 機械システム設計A ☐ 機械システム設計B ☐ 工学実験A ☐ 工学実験B ☐ 校外実習
④ <u>コミュニケーション能力</u> 科学的な分析に基づく論理的な記述力、明解な口頭発表能力、十分な討議能力及び国際的に通用するコミュニケーション能力の修得	実習・実験及び研究の成果を、理解しやすくレポートや報告書にまとめ、有意義な口頭発表を行うことができる能力を身につける。	☐ 工学基礎演習		☐ 創造総合実習	☐ 工学実験A ☐ 工学実験B
⑤ <u>技術者倫理</u> 世界の文化・歴史の中で、技術が社会に与える影響を考え、自らの責任を自覚し誇りを持つことのできる技術者の育成	社会における技術者の役割や責任及び望ましいありかたを自ら求めることができる能力を身につける。	☐ 工学基礎演習			☐ 校外実習

学校教育目標・学科教育目標・科目関連表(機械工学科(令和3年度以降入学者))

学校教育目標	機械工学科の教育目標	準学士課程(本科) 科目名	
		第5学年	課題研究
① ものづくり能力 社会の変化と要請を的確に捉え、ものづくりを多面的に認識し、実現可能なシステムを構築できる技術者の養成	機械工学科専門科目及び国語、社会等の一般科目を体系的に学習し、ものづくりを実現可能とする能力を身につける。	☐ 材料力学Ⅲ ☐ 熱力学Ⅱ ☐ 水力学Ⅱ ☐ 制御工学A ☐ 制御工学B ☐ 電気電子回路A ☐ 電気電子回路B ☐ 機械工作法Ⅲ ☐ メカトロニクス特論 ☐ 卒業研究	☐ デジタル技術検定 ☐ CGエンジニア検定 ☐ 技術士第一次試験 ☐ ロボット製作／ロボット設計製作 ☐ 設計競技 ☐ 設計競技(全国) ☐ 設計競技(国際) ☐ 特別校外実習 ☐ 自然資源活用ものづくり ☐ 機械設計技術者試験 ☐ ITパスポート試験 ☐ 基本情報技術者 ☐ 応用情報技術者 ☐ ネットワークスペシャリスト ☐ データベーススペシャリスト ☐ ITサービスマネージャ ☐ エンベデッドシステムスペシャリスト ☐ 情報処理安全確保支援士試験 ☐ ITストラテジスト ☐ システムアーキテクト ☐ プロジェクトマネージャ ☐ システム監査技術者 ☐ 産学連携実践セミナー(短期) ☐ 産学連携実践セミナー(長期)
② 基礎学力 実験・実習で培われる豊かな体験と基礎理論の深い理解との融合から生まれるエンジニアリング基盤の確立	数学、物理及び工学の基礎の修得と豊富な実験・実習体験を通じて、技術者の基礎となる活きた学力を身につける。	☐ 制御工学A ☐ 制御工学B	☐ 技術士第一次試験 ☐ 設計競技 ☐ 設計競技(全国) ☐ 設計競技(国際) ☐ ものづくりセミナー ☐ 2次元CAD利用技術者 ☐ 機械設計技術者試験
③ 問題解決能力 問題意識と考える力を持ち、自ら学習することによる創造力と実践力を備えた技術者の養成	実験や研究を通じて、自ら工学的な問題を設定でき、それを解決するための道筋を示し、実行することができる能力を身につける。	☐ 卒業研究	☐ ロボット製作／ロボット設計製作 ☐ 設計競技 ☐ 設計競技(全国) ☐ 設計競技(国際) ☐ 特別校外実習 ☐ ものづくりセミナー ☐ 自然資源活用ものづくり ☐ 2次元CAD利用技術者 ☐ 産学連携実践セミナー(短期) ☐ 産学連携実践セミナー(長期)
④ コミュニケーション能力 科学的な分析に基づく論理的な記述力、明解な口頭発表能力、十分な討議能力及び国際的に通用するコミュニケーション能力の修得	実習・実験及び研究の成果を、理解しやすくレポートや報告書にまとめ、有意義な口頭発表を行うことができる能力を身につける。	☐ 卒業研究	☐ 産学連携実践セミナー(短期) ☐ 産学連携実践セミナー(長期)
⑤ 技術者倫理 世界の文化・歴史の中で、技術が社会に与える影響を考え、自らの責任を自覚し誇りを持つことのできる技術者の育成	社会における技術者の役割や責任及び望ましいありかたを自ら求めることができる能力を身につける。		☐ 技術士第一次試験 ☐ 特別校外実習 ☐ 産学連携実践セミナー(短期) ☐ 産学連携実践セミナー(長期)

学校教育目標・学科教育目標・科目関連表(機械工学科(平成28年度～令和2年度入学者))

学校教育目標	機械工学科の教育目標	準学士課程(本科) 科目名			
		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
① ものづくり能力 社会の変化と要請を的確に捉え、ものづくりを多面的に認識し、実現可能なシステムを構築できる技術者の養成	機械工学科専門科目及び国語、社会等の一般科目を体系的に学習し、ものづくりを実現可能とする能力を身につける。	☐ 機械工作法I ☐ 工学基礎演習	☐ 工業力学I ☐ 情報工学I ☐ 機械工作法II ☐ メカトロニクス実習 ☐ 材料学IA ☐ 材料学IB	☐ 工業力学II ☐ 機械設計製図ⅠA ☐ 機械設計製図ⅠB ☐ 材料学II ☐ 材料力学I ☐ 機械要素設計A ☐ 機械要素設計B ☐ 機械運動学A ☐ 機械運動学B ☐ 基礎電気電子回路A ☐ 基礎電気電子回路B	☐ 機械設計製図ⅡA ☐ 機械設計製図ⅡB ☐ 校外実習 ☐ 材料力学IIA ☐ 材料力学IIB ☐ 機械力学A ☐ 機械力学B ☐ 熱力学IA ☐ 熱力学IB ☐ 水力学ⅠA ☐ 水力学ⅠB ☐ 基礎電気磁気学
② 基礎学力 実験・実習で培われる豊かな体験と基礎理論の深い理解との融合から生まれるエンジニアリング基盤の確立	数学、物理及び工学の基礎の修得と豊富な実験・実習体験を通じて、技術者の基礎となる活きた学力を身につける。	☐ 工学基礎演習 ☐ 基礎実習	☐ 工業力学I ☐ 情報工学I ☐ 基礎製図A ☐ 基礎製図B ☐ メカトロニクス実習	☐ 応用物理学A ☐ 応用物理学B ☐ 応用物理実験 ☐ 工業力学II ☐ 機械運動学A ☐ 機械運動学B ☐ 情報工学II ☐ 工学演習 ☐ 創造総合実習	☐ 統計学 ☐ 解析学A ☐ 解析学B ☐ 機械設計製図ⅡA ☐ 機械設計製図ⅡB ☐ 工学実験A ☐ 工学実験B ☐ 情報工学Ⅲ
③ 問題解決能力 問題意識と考える力を持ち、自ら学習することによる創造力と実践力を備えた技術者の養成	実験や研究を通じて、自ら工学的な問題を設定でき、それを解決するための道筋を示し、実行することができる能力を身につける。	☐ 工学基礎演習 ☐ 基礎実習	☐ 基礎製図A ☐ 基礎製図B ☐ メカトロニクス実習	☐ 機械設計製図ⅠA ☐ 機械設計製図ⅠB ☐ 創造総合実習 ☐ 応用物理実験	☐ 機械設計製図ⅡA ☐ 機械設計製図ⅡB ☐ 工学実験A ☐ 工学実験B ☐ 校外実習
④ コミュニケーション能力 科学的な分析に基づく論理的な記述力、明解な口頭発表能力、十分な討議能力及び国際的に通用するコミュニケーション能力の修得	実習・実験及び研究の成果を、理解しやすくレポートや報告書にまとめ、有意義な口頭発表を行うことができる能力を身につける。	☐ 工学基礎演習		☐ 創造総合実習	☐ 工学実験A ☐ 工学実験B
⑤ 技術者倫理 世界の文化・歴史の中で、技術が社会に与える影響を考え、自らの責任を自覚し誇りを持つことのできる技術者の育成	社会における技術者の役割や責任及び望ましいありかたを自ら求めることができる能力を身につける。				☐ 校外実習

学校教育目標・学科教育目標・科目関連表(機械工学科(平成28年度～令和2年度入学者))

学校教育目標	機械工学科の教育目標	準学士課程(本科)		科目名
		第5学年	課題研究	
① ものづくり能力 社会の変化と要請を的確に捉え、ものづくりを多面的に認識し、実現可能なシステムを構築できる技術者の養成	機械工学科専門科目及び国語、社会等の一般科目を体系的に学習し、ものづくりを実現可能とする能力を身につける。	☐ 材料力学Ⅲ ☐ 熱力学Ⅱ ☐ 水力学Ⅱ ☐ 応用機械設計製図 ☐ 制御工学A ☐ 制御工学B ☐ 情報技術 ☐ 機械工作法Ⅲ ☐ 機械工学特論 ☐ 塑性加工学 ☐ メカトロニクス ☐ 卒業研究	☐ デジタル技術検定 ☐ CGエンジニア検定 ☐ 技術士第一次試験 ☐ ロボット製作／ロボット設計製作 ☐ 設計競技 ☐ 設計競技(全国) ☐ 設計競技(国際) ☐ 特別校外実習 ☐ 自然資源活用ものづくり ☐ 機械設計技術者試験 ☐ ITパスポート試験 ☐ 基本情報技術者	☐ 応用情報技術者 ☐ ネットワークスペシャリスト ☐ データベーススペシャリスト ☐ ITサービスマネージャ ☐ エンベデッドシステムスペシャリスト ☐ 情報処理安全確保支援士試験 ☐ ITストラテジスト ☐ システムアーキテクト ☐ プロジェクトマネージャ ☐ システム監査技術者 ☐ 産学連携実践セミナー(短期) ☐ 産学連携実践セミナー(長期)
② 基礎学力 実験・実習で培われる豊かな体験と基礎理論の深い理解との融合から生まれるエンジニアリング基盤の確立	数学、物理及び工学の基礎の修得と豊富な実験・実習体験を通じて、技術者の基礎となる活きた学力を身につける。	☐ 応用機械設計製図 ☐ 制御工学A ☐ 制御工学B ☐ 情報技術 ☐ 塑性加工学	☐ 技術士第一次試験 ☐ 設計競技 ☐ 設計競技(全国) ☐ 設計競技(国際) ☐ ものづくりセミナー ☐ 2次元CAD利用技術者 ☐ 機械設計技術者試験	
③ 問題解決能力 問題意識と考える力を持ち、自ら学習することによる創造力と実践力を備えた技術者の養成	実験や研究を通じて、自ら工学的な問題を設定でき、それを解決するための道筋を示し、実行することができる能力を身につける。	☐ 応用機械設計製図 ☐ 卒業研究	☐ ロボット製作／ロボット設計製作 ☐ 設計競技 ☐ 設計競技(全国) ☐ 設計競技(国際) ☐ 特別校外実習	☐ ものづくりセミナー ☐ 自然資源活用ものづくり ☐ 2次元CAD利用技術者 ☐ 産学連携実践セミナー(短期) ☐ 産学連携実践セミナー(長期)
④ コミュニケーション能力 科学的な分析に基づく論理的な記述力、明解な口頭発表能力、十分な討議能力及び国際的に通用するコミュニケーション能力の修得	実習・実験及び研究の成果を、理解しやすくレポートや報告書にまとめ、有意義な口頭発表を行うことができる能力を身につける。	☐ 卒業研究	☐ 産学連携実践セミナー(短期) ☐ 産学連携実践セミナー(長期)	
⑤ 技術者倫理 世界の文化・歴史の中で、技術が社会に与える影響を考え、自らの責任を自覚し誇りを持つことのできる技術者の育成	社会における技術者の役割や責任及び望ましいありかたを自ら求めることができる能力を身につける。		☐ 技術士第一次試験 ☐ 特別校外実習 ☐ 産学連携実践セミナー(短期) ☐ 産学連携実践セミナー(長期)	